

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 28年 8月 3日			
所属学部・研究科	教育学部 学部/研究科 博士課程後期2年次 (留学開始時点)			
留学先大学	トゥールーズ・ジャンジョレス大学 (国名: フランス)			
所属学部・学科等名	DEFLE (Département Étranger Français Langue Education)			
在籍身分	交換留学生			
留学期間	平成 27年 9月 1日 ~ 平成 28年 6月 30日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: 学生ビザ			
	ビザ申請先: 在日フランス大使館			
	取得方法: キャンパスフランスでのオンライン手続き 提出書類: ビザの申請書、証明写真、経済証明書、パスポート、大学の受入証明書、移民局提出用フォーム			
	手続きに要した日数: 一ヶ月			
その他必要な事前手続き	寮費を安くしてもらうための手続きに、アポステイーユのついた戸籍謄本とそのフランス語訳が必要となります。			
出国年月日	平成 27年 9月 1日			
経路	関西国際空港→トルコ・アタトゥルク空港→トゥールーズ・ブラニャック空港			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (大学関係者) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	9月中頃にクラス分けのテストと留学生用のオリエンテーションが実施されました。			
帰国年月日	平成 28年 7月 1日			
経路	トゥールーズ・ブラニャック空港→トルコ・アタトゥルク空港→関西国際空港			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	120万	円	
	内訳	渡航費	18万	円
		保険料	12万	円
		教科書代(学費)	0	円
		宿舍費	30万	円
		食費	30万	円
		その他 (雑費)	30万	円
(費)		円		
(費)		円		
3. 授業について				
2015-2016年 1学期	9月 21日 ~ 1月 17日			

2015-2016年 2学期	1月 18日 ~ 5月 17日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	HUSA を利用した学生は、DEFLE という学科に所属することになります。そこではレベルにもよりますが、文法、聞き取り、会話、読解、フランス文化の授業を受けることができます。1学期2学期ともにほとんど同じ授業構成です。
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合、所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	トゥールーズ・ジャンジョレス大学では、様々な研究会や学会が実施されます。あちこちにある張り紙をよく見てみることをお勧めします。
4. 生活等について	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()
住居の広さ	約 18 m ² 同居人の有無 <input type="checkbox"/> 有 (人) <input checked="" type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()
住居費	1ヶ月当たり 約 250 ユーロ(現地通貨) 約 3万4千円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()
留学先での住居全般に関するアドバイス	入寮のための手続きを入国前に入念にやっておいた方がいいと思います。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()
掛け金は	年間 12万円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ()
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	特に無し	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
フランス人に聞くと、トゥールーズの中にも近づかない方がいい地域があると教えてくれたので、その地域には行かないように過ごしていたので特に身の危険を感じることはなかった。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
ストライキとデモには注意しましょう。これらの影響のせいで、大学に行くためのバスが動いていなかったり、電車が動かなかったりします。なので、定期的に交通状況に関する情報を確認しておく必要があります。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 29 年 9 月 (当初の卒業予定年月 平成 28 年 3 月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4 年次に留学したため <input checked="" type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等	博士論文執筆のために研究を進めています。	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	チューターの先生や指導教員の方と連絡を取り、単位の取り方について相談しておくと思います。	
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
Tisseo	https://www.tisseo.fr/	地下鉄、バス、モノレールすべての情報を確認できます。
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
フランスはここ最近テロが頻発していて、危険と隣り合わせになっています。周りの方と相談して、留学の承諾を得ることができた学生は、ぜひ留学を楽しんでください。大学の授業は慣れるまでは大変ですが、ペースが掴めてくると余裕も持てる程度のスケジュール のはずです。フランス国内の旅行はもちろん、それ以外のヨーロッパ諸国をめぐる良い機会なので活用されたら良いと思います。		

【学習の概要に関するレポート】

HUSA プログラムでトゥールーズ・ジャンジョレス大学へ留学する学生は、主に DEFLE (Département Étrangère Français Langage Education) という学科で学ぶことになる。この学科は、外国人学生がフランス語を学ぶための学科であり、フランス語のレベル毎にクラスが分けられている。用意されている授業はレベル毎に異なっており、私のレベルのクラスでは、読解、発音、文法、聞き取り、フランス文化の授業がカリキュラムに組み込まれていた。このカリキュラム構成は、前期・後期ともに大きく変わらない。なお授業は基本的に全てフランス語で行われるので、聞き取りの力がかなり求められる。

DEFLE での授業の他に、他学部、他学科の授業も受講できる。私は DEFLE での授業の他に、関心のあった教育哲学の授業を受講した。この授業は、自身の専門である教育哲学がどのように教えられているかを知ることのできる貴重な機会だった。なお他学部、他学科での授業を受講する際は、その担当部局の事務の方と相談してから担当教授と相談した上で臨んだ。

また、自身の研究を進展させるために、大学の企画した研究会と講演会に参加した。研究会・講演会ともに、DEFLE の授業や教育哲学の授業とは異なった、フランスの学術的な雰囲気に触れることのできる刺激的な場だった。トゥールーズ・ジャンジョレス大学は、様々な学びの機会を提供してくれているので、大学のホームページやキャンパス内で張り出されているポスターに常に注意を払うようにした。

また 2016 年 4 月にはイギリス教育哲学会 (Philosophy of Education Society of Great Britain) の開催する学会に参加した。日本から当学会に参加するよりも交通費が断然安く済んだので、フランス留学の利点を十分に活かすことができたと考えている。留学以前から自身の研究で参照していた研究者の方々と実際にお話をさせていただく機会を設けることができたので、今後の自身の研究に生きてくると思われる。

個人的な反省点としては 2 点ある。1 点目は、フランス語を話さなければならない環境に継続して身を置くことができなかつたことである。自身の研究も進めなければならない一方で、語学力も向上させなければならないというなかで、フランス人との交流よりも自身の研究を進展させるために、食事会やパーティへの参加回数が留学後半になって減少してしまったので、もう少しバランスを考える必要があった。2 点目は、自身の研究領域に関する資料収集の不足である。フランスにいる間に読み切ることができないことを承知の上で、収集のための費用が少なく済むフランスでもっと資料収集に精を出しておけばよかつたと帰国してから感じている。

【生活の概要に関するレポート】

生活の概要に関して書き始めるとキリがないので、住居面と銀行口座開設と治安を中心に書く。

・治安

トゥールーズで治安の悪さを感じることはほとんどなかった。というのも、危険とされる地区には近づかないようにしていたからだろう。危険とはされていない地区でも、もちろん街の中を夜に出歩くと酔っ払った人たちが大きい声で歩いているし、柄の悪そうな若者がたむろしていることもあるが、だからといって、何かを仕掛けられることはなかった。しかし、昨年11月のパリでのテロ以降、トゥールーズでも緊張感が高まっているのは確かである。

・住居

留学が決まったらトゥールーズの大学から、学生寮への入居希望の有無をたずねるメールが送られてくる。ちなみに私と同時に留学を開始した他の日本人留学生達は、全員学生寮に入居していた。私の留学する前年度までは、Chapou と呼ばれる学生寮があてがわれていたが、私の年度ではその他に Daniel Faucher と Mirail という計3つの寮のいずれかがあてがわれた。寮の選択権はなく、私にあてがわれたのは Daniel Faucher である。Daniel Faucher の部屋は18㎡で、シャワールームとトイレ付きで、寮内に共同キッチンはない。

なお Daniel Faucher の家賃は330ユーロだが、CAF という制度を利用することで、割引が利くようになる。この CAF という手続きに苦戦する学生が多い。Campus France のHP上で手続きの仕方が分かりやすく書いてあるので、それを参考にしながら、出国前から準備しておくといい。

・銀行

私の年度では、ほとんどの日本人学生がフランスで銀行口座を開設した。口座開設は、Okin (日本人を支援する学生サークルのようなもの) の学生に手伝ってもらおうとスムーズに進む。ちなみに Okin の学生は空港に迎えに来てくれて、生活用品の買い出しなどを手伝ってくれるので、留学前から連絡はなるべく密にとるようにした方がよい。とはいえ、銀行開設に関しては Okin のペースに任せておくとなかなか手続きが進まないこともある。その場合は、自分から積極的に Okin に連絡を取るか、個人的に銀行口座を開設する必要がある。入国して9月に銀行口座開設する場合は、多くの留学生が手続きする時期なので、銀行も大変混雑している。そのため手続きにかなり時間がかかることもある。いち早く銀行口座を開きたい時は、混んでない銀行を選んでもいいかもしれない。